

第10回

文化庁 2019年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業『実演芸術連携交流事業』」

実演芸術連携フォーラム

全国あらゆる人々へ芸術体験の機会を拡げるために

実演芸術分野の専門家として、どんな視点が求められるでしょうか、どんな人たちと協働ができるでしょうか。芸術団体、劇場・音楽堂等の文化施設、文化関連団体、自治体など、文化芸術にさまざまな形で携わる皆さんと、取り組み事例を共有しながら一緒に考えます。

日 程 2019年7月16日（火）13:00～17:30

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室（国際交流棟）

住所：東京都渋谷区代々木神園町3-1（小田急線「参宮橋」駅 徒歩7分、千代田線「代々木公園」駅 徒歩10分）

参加費 無料

●手話通訳あり ●途中の入退場OK ●当日の進行状況により時間は変動する可能性あり

13:00-13:15 ◎開会挨拶 文化庁

13:15-14:45 ◎第1部「人材交流から描く未来図～国内専門家フェロシップ研修報告から」

ゆたかな芸術創造を支える専門性を高めるためには、キャリアアップやキャリアシフトなど、段階に応じた研修機会が必要です。2015年から開始した国内研修制度「国内専門家フェロシップ制度」では、実務研修を通して、文化施設や芸術団体という枠組や職域、そして地域を超えた専門人材同士の交流が広がっています。2018年度研修者による報告から、本人だけでなく、周辺にもたらす効果と将来的な可能性を考えます。

● 報告者（所属先） | 研修先

小川哲郎（合同会社JS文化フォーラム 東御市文化会館） | (公財)埼玉県芸術文化振興財団 さいたま芸術劇場
佐藤拓矢（(有)古典空間） | (公財)かすがい市民文化財団 春日井市民文化会館・文化フォーラム春日井
野田景子（(公財)鳥取県文化振興財団 とりぎん文化会館） | (公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

● 進行 楯屋一之（神奈川県国際文化観光局舞台芸術担当部長 兼 青少年センター参事）

15:00-17:30 ◎第2部「ユニバーサル社会の実現にむけて～芸術文化の取り組み事例から」

言語、身体障害など、さまざまな不安を抱えている人々が芸術文化を楽しむために、どんなアプローチができるでしょうか？劇場や芸術団体の立場からの気付き、今後の展開にむけた協働の可能性を考えます。

● 事例報告

Tickets Today（ロングランプランニング）…外国人観光客を視野に入れた多言語対応の当日券案内所
エル・システマジャパン…「東京ホワイトハンドコーラス」障害児を中心とした音楽活動の展開
劇団銅鑼…若年無業者らの社会参加支援の一環としての演劇ワークショップ

● ディスカッション

笹川康雄（国立劇場 制作部長）
鈴木順子（東京芸術劇場 事業企画課長）
田辺素子（劇団銅鑼 制作）

事業公式ウェブサイトもご覧ください www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/



後援：公益社団法人全国公立文化施設協会／劇場、音楽堂等連絡協議会／公共劇場舞台技術者連絡会
主催：文化庁／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕



実演芸術連携フォーラム（旧 全国劇場・音楽堂等連携フォーラム）は、2013年から継続開催している専門家同士の交流の機会です。

連携フォーラム宣言

劇場、音楽堂等と芸術団体の力を生かし 実演芸術、地域文化をより豊かなものに

2012年6月、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律が制定され、2013年3月文部科学大臣により策定された指針が示され、今日における劇場、音楽堂等の目指すべき姿が現れてきました。実演芸術の力を生かし、すべての国民が心豊かな生活を実現できる場、地域コミュニティの創造と再生を通じ地域の発展を支える「新しい広場」として、国際社会の発展に寄与する「世界の窓」としての役割が期待されています。

第2回全国劇場・音楽堂等連携フォーラムに集った、劇場、音楽堂等と実演芸術関係者は、人々が文化芸術を創造し、鑑賞し、体験することができる豊かな環境をつくり出すことを共通目的に、劇場、音楽堂等と芸術団体が連携を深め、相互に学び、経験を共有し、実演芸術の質の向上と全国での機会の創出のために不断の努力を積み重ねていくことが重要であるとの認識で一致しました。そのためには、制作、技術、実演、経営等の専門家の育成・確保を図り、その活動の場を広げ、活動の質を高める必要があることも確認しました。

私たちは、これらのことを成し遂げていくために、継続的に努力し、積極的な政策提言を行わなければならないと考えています。そして、国、地方公共団体に対して、文化芸術の振興に果たす劇場、音楽堂等と実演芸術団体の役割を認識し、これらを活かすために、効果的な政策を形成し予算の拡充を図るよう働きかけていきます。

私たちは、今後、「全国劇場・音楽堂等連携フォーラム」を継続的に開催し、「実演芸術、地域文化をより豊かなものに」するために連携して活動に尽力することを宣言します。

2014年1月20日 第2回全国劇場・音楽堂等連携フォーラム
劇場・音楽堂、実演芸術団体 参加者一同

実演芸術連携交流事業とは

国内外のプロデューサー、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、実演家等の実演芸術に携わる専門家同士の交流促進を通じて、芸術文化を支えるグローバル人材の育成と国外への発信力の強化を図り、わが国の実演芸術の一層の振興に資することを目的とし、2015年度より開始した事業です。「国内専門家フェロシップ制度」「実演芸術連携フォーラム」「実演芸術国際シンポジウム」の3つの取組を通して、実演芸術に携わる専門人材の育成と、専門家同士の横断的なネットワーク構築を目指します。

www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/

申込方法 | 第10回 実演芸術連携フォーラム

◎メール entry@geidankyo.or.jp …下記フォームと同様の必要事項を明記してお送りください

◎FAX 03-5909-3061 …下記フォームにもれなくご記入の上お送りください

◎ウェブ www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/forum/ …申込フォームにご入力ください

- ◆ 申込み頂いた方の、氏名、所属、担当職務・役職を記載した参加者リストを当日配布予定ですのでご了承ください。
- ◆ 申込締切日後の参加申込や変更については担当までご連絡ください。
- ◆ 当日は取材、記録撮影などを行います。撮影・記録した内容は、本件の報告書や広報に使用させていただきます。
- ◆ 会場の都合上、申込者多数などにより、ご希望に添えない場合があります。
- ◆ 頂いた個人情報は、今後の同種の芸団協関連事業のご案内等に使用させていただきます。

FAX申込フォーム

申込締切

2019年7月12日（金）

ご所属 ※フリーランスの方は所属欄は空欄で結構です		TEL
(団体名)		FAX
(施設名)		
お名前（ふりがな） 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 手話通訳が必要です ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		
お名前（ふりがな） 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 手話通訳が必要です ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		
お名前（ふりがな） 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 手話通訳が必要です ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		

【お問い合わせ】 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協] 実演芸術振興部 担当：藤原

〒160-8374 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2F

TEL：03-5909-3060(平日 10時～18時) FAX：03-5909-3061 Eメール：renkei@geidankyo.or.jp